

令和6年度 かほく市立高松小学校 学校評価計画

経営目標	取組内容	主担当	現状	評価の観点	達成度判断基準	対象		
(1) めざす児童像達成のため	① 自分や友だちを大切に する子 (市重点2) 組織的な特別支援教育と新たな生徒指導の推進 (市重点3) いじめ・不登校への適切な対応と安心できる居場所づくり	ア 「いいところみつけ」等の肯定的な捉え	生徒指導部	児童一人一人のよさを引き出し、よりよい人間関係を構築し、自己肯定感を高める必要がある。	自分にはよいところがある と思いますか	なかよしアンケートによる肯定的割合が A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	児童	
		イ 「児童理解の会」の定例化	生徒指導部	一人一人の児童を確実に把握し、更にきめ細かな支援が必要である。児童の困り感に寄り添う姿勢をより一層心掛ける必要がある。	学校へ行くのは楽しいですか (市共通①)	なかよしアンケートによる肯定的割合が A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	児童	
		ウ 多様性を認める人間関係づくり	生徒指導部	特別支援教育の理解と児童のニーズに合った対応が必要である。	先生はほめたりはげましたり してくれますか	児童アンケートによる肯定的割合が A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	児童	
	② 自ら考え、学び合う子 (市重点1) 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実	ア 「学びたいム」の設定	学習指導部	研究の重点について共通実践に努める必要がある。	児童をほめたりはげましたり していますか	教職員アンケートによる肯定的割合が A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	教職員	
		イ 自学ノートの推進	学習指導部	自ら学ぶ意欲を高める必要がある。	友だちの失敗も認め、思いやり を持って接していますか	児童アンケートによる肯定的割合が A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	児童	
		ウ 定期テストの活用	学習指導部	個々の伸びを意識し、肯定的にとらえる必要がある。	支援を必要とする児童の ニーズに対応していますか	教職員アンケートによる肯定的割合が A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	教職員	
	③ うまいかなくてもあきらめない子	ア 「感想タイム」の常態化	特別活動部	様々な活動で振り返りを行い、自分の行動を見直す必要がある。	「学びたいム」で進んで動いたり、 自分の考えを伝えたりしていますか	児童アンケートによる肯定的割合が A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	児童	
		イ 縦割り活動の活性化	特別活動部	他を思いやり、トライをみんなで応援する態度が必要である。	授業で「学びたいム」の設定が できていますか	教職員アンケートによる肯定的割合が A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	教職員	
		ウ 学級活動での課題解決	特別活動部	常に課題意識を持ち、それを解決しようとする必要がある。	学年×10分の家庭学習をしていますか	児童アンケートによる肯定的割合が A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	児童	
	(2) めざす教師像育成のため	① 強い情熱を持った教師	ア ほめと励ましを適切に用いて学びに向かう姿を置 置北する。さらに、規律の意味を一人一人が理解 できるよう働きかける。	生徒指導部	個々を肯定的にとらえ基本的な規律が理解できるように努める必要がある。	自分で計画を立てて勉強 していますか	児童アンケートによる肯定的割合が A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	児童
			イ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的 に充実し、主体的で協働的に学ぶ子の育成をめざし、 ねらいを達成するための深め合う授業づくり の研究、研修を組織的に推進する。	学習指導部 情報担当	情報活用能力を高め、研究の重点につ いて共通実践に努める必要がある。	児童の小さな伸びも的確に 捉えていますか	教職員アンケートによる肯定的割合が A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	教職員
		② 高い力量を持った教師	ア 教材研究を深め、児童が「わかる・できる」と いった達成感のある授業を構築する。	学習指導部	教材研究を深め、児童が「わかる・できる」と いった達成感のある授業を構築する必要がある。	「感想タイム」で発表しよう としていますか	児童アンケートによる肯定的割合が A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	児童
イ 今日的な課題や教員のニーズ、キャリアステージ に沿った研修を管理職との対話により推進する。			校長・教頭 若プロ担当	面談や若プロを通し、自分の役割を理解し 教師力を高める必要がある。	様々な場面で「感想タイム」 の設定をしていますか	教職員アンケートによる肯定的割合が A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	教職員	
③ 総合的な人間力を備える教師		ア 学校安全委員会、学校安全ボランティア、PTAと 連携し安全・安心な学校づくりをめざす。	校長・教頭 教務・各担当	社会情勢や保護者の思いを的確に感じ、 様々な考え方や相手を理解する必要がある。	わくわくタイムやなかよし タイムは楽しいですか	児童アンケートによる肯定的割合が A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	児童	
		イ コミュニティスクール事業等を通して家庭・地域 との連携を推進する。	CN・各担当	地域社会に関心をもち、地域についての 理解や愛着を深める必要がある。	児童の挑戦や挑戦しようとする 思いを促していますか	教職員アンケートによる肯定的割合が A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	教職員	
(3) めざす学校像確立のため		① 安全で安心できる学校	ア 学習環境のユニバーサルデザイン化	健康安全部 学習指導部	児童の学習環境を整え、学びに向かい やすくする必要がある。	自分や学級の課題を見つけ、 解消することができましたか	児童アンケートによる肯定的割合が A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	児童
			イ 防災計画の見直し	健康安全部	計画的で実効的なマニュアル等の作成 を行う必要がある。	児童の主体性を大切にした 学級活動を行っていますか	教職員アンケートによる肯定的割合が A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	教職員
			ウ 計画的な食育指導	健康安全部	児童の学習習慣を確立すると共に、 生活習慣を整える必要がある。	「感想タイム」で発表しよう としていますか	児童アンケートによる肯定的割合が A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	児童
		② 保護者・地域と連携する学校	ア ホームページの充実	各担当	ホームページやメール等を活用し、 地域や保護者と連携する。	授業はわかりやすいですか	児童アンケートによる肯定的割合が A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	児童
			イ 地域人材の活用	CN・各担当	地域社会に関心をもち、地域について の理解や愛着を深める必要がある。	わかりやすい授業をして いますか	教職員アンケートによる肯定的割合が A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	教職員
			ウ 地域への貢献	CN・各担当	地域とともに学び、地域に貢献しよう とする心を育む必要がある	研修等で自分の考えを表現 していますか	児童アンケートによる肯定的割合が A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	児童
	③ 教職員が働きやすい学校	ア 働き方改革の推進	校長・教頭 各担当	スクラップ&ビルドで行事の精選、 会議の効率化に努める必要がある。	児童の先生は話しやすい ですか	保護者アンケートによる肯定的割合が A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	保護者	
		イ 教職員の協力協働	校長・教頭 各担当	C4thを活用する等協力できる体制 づくりを行い、特定の職員に負担が偏ら ないようにする必要がある。	児童の先生は話しやすい ですか	保護者アンケートによる肯定的割合が A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	保護者	
		ウ 強い情熱、高い力量、総合的な人間 力を備える教師の育成	校長・教頭 各担当	安心して自分の思いや意見を言える 職員室を醸成する必要がある。	自分の思いを上司や同僚に 伝えることができましたか	児童アンケートによる肯定的割合が A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	児童	